

1. 学校マネジメントの深化

事例②

【観点Ⅰ×Ⅳ】「学校課題等の解決に向けた地域学校協働活動の充実」

取組実践校:別府市立中部中学校(生徒数479名 17学級)

「学校課題等に地域とともに取り組む工夫」

【観点Ⅰ】学校組織としてのベクトルをそろえる

学校の教育目標

夢を持ち自ら学び続ける生徒の育成

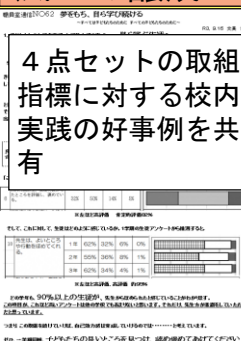
学校の喫緊の課題の洗い出し

年度当初の第1回教職員意識調査により不登校対応が喫緊の課題であることを共通認識

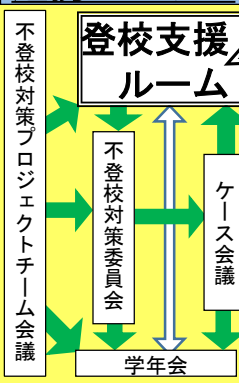
解決の方向性を共有(第2回教職員意識調査)

「すべては子どもたちのために、
すべての子どもたちのために」

職員室通信を活用した学校風土の醸成



不登校対応の連携システム



校内に不登校生徒の「居場所」をつくる

どこに? どうやって?

対応できる職員がいない!

統括コーディネーターによる調整

【観点Ⅳ】社会に開かれた教育課程実現に向かう地域の教育力の活用

地域学校協働本部(中部子ども応援プロジェクト)による学校課題等の解決に向けた取組の推進

学校の教育目標実現に向けた協働



「地域の先生」によるドリームスクール(職業講話)実施。

学校課題の解決に向けた協働



校内の倉庫を地域の協力で登校支援ルームへ改装



地域ボランティア(後に登校支援員として対応)による支援ルーム見守り

登校支援ルームの活用

中部子ども応援プロジェクトが人材バンク作成

人材バンクを教職員へ提示し教育活動を計画

教育課程編成へ

ドリームスクールを入れた次年度教育課程の編成へ

取組の成果: 目標共有に向かう三者の取組充実・不登校生徒にとっての居場所として支援ルームが機能